

大学院研究科のアドミッションポリシー	入学者受入れの方針
--------------------	-----------

本学は、未来志向の「実学教育と人格の陶冶」を建学の精神とし、「人に愛される人、信頼される人、尊敬される人の育成」を教育の目的として掲げてきました。この「建学の精神」と「教育の目的」は、知識基盤社会へ転換しようとする21世紀の日本において、いっそう必要とされる理念であると自負します。本学が、総合大学として各学部の特徴を生かしながら、共に手を携えて目指そうとしているのは、「実学教育」と「人格の陶冶」の融合です。真の「実学」とは、必ずしも直接的な有用

法学研究科 法律学専攻 > 博士前期課程 ／ 博士後期課程	…… 9
---	------

本研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶を踏まえて、法学及び政治学の分野において、その根底に横たわる重要問題や最先端の内容を教授・研究し、学生に修士（法学）や博士（法学）にふさわしい幅広い基盤的な専門知識・考え方を修得させるとともに、専攻する各研究分野における応用力を身につけさせ、国際社会、国家または地域社会の発展に向けて、実際に指導的な役割を果たし得る多種多様な専門家を養成することにあります。したがって、具体的には以下のような人の入学を希望します。

博士前期課程

1.現代社会における諸問題を解決するため、法学・政治学の観点からさらに研究を深めようとする人。
2.法学・政治学に関連する資格を取得し、それを通じて有意義な社会活動に取り組もうとする人。
3.法学・政治学についてさらに研究を深め、社会人としての活動にその研究において培った能力を生かそうとする人。本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、学内推薦入学選考（7月）、学内入学選考（9月、2月）、一般入学選考（9月、2月）及び社会人入学選考（9月、2月）を実施し、入学者各自の適性及び経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・口頭試問等を行い総合的に判断しています。

博士後期課程

1.法学・政治学の各専攻分野において自立した研究者として独創的な研究を行おうと意欲する人。
2.国内・国外の多様な方面で、法学・政治学に関する高度な専門性が求められる分野で活躍しようと思欲する人。
3.法学・政治学の専門性を踏まえて、高度に複雑な現代社会における問題を発見し、その解決案を提示して、その成果を社会人としての活動に活かそうとする人。本研究科の入学選考では上記の人材を選抜するために、一般入学選考（2月）及び社会人入学選考（2月）を実施し、入学者各自の専門的学識・修士論文等に加えて適性及び経験に応じた入学選考を選択できるようにし、選考にあたっては筆記試験・口頭試問等を行い総合的に判断しています。

商学研究科 商学専攻 > 博士前期課程 ／ 博士後期課程	…… 11
--	-------

商学研究科は、商学、経営学、会計学、ITビジネス、キャリア・マネジメント学、スポーツマネジメントの6つの分野のうち、いずれかの分野に軸足を置いて高度な専門知識を修得し、実務界・学界等で活躍・貢献できる人材を育成することを目的としています。下に示すように、本研究科の前期課程では、それらの6つの分野に関心を持ち、高度な専門知識の修得に意欲を持つ人を積極的に受け入れています。また、本研究科の後期課程では、専攻しようとする前述の6分野について、将来、研究者になることを目指し、より高度な専門知識と豊かな学識の修得に意欲を持つ人を受け入れています。

博士前期課程

1.本研究科の6つの分野のうち、専攻しようとする分野に強い興味・関心と基礎知識を持つ人。
2.高度な専門知識の修得に意欲を持つ人。
3.高度な専門知識を有するスペシャリストとして実務界で活躍することを希望する人。

博士後期課程

1.専攻しようとする分野に強い興味・関心と高度な専門知識を持つ人。
2.高度な研究能力の修得に意欲を持つ人。
3.外国語に関する読解力等の十分な語学力を有する人。

上記のポリシーを実現するために、国内外から広く人材を受け入れることを想定して、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績）に加えて口頭試問を課します。これによって、学士課程（博士前期課程志願者）あるいは博士前期課程（博士後期課程志願者）における基礎学力、語学力、国際的な視野と高い倫理観、商学専攻関連の高度な専門知識、社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。なお、外国人留学生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留學試験（日本語）の成績」の結果も加味します。

経済学研究科 経済学専攻 > 博士前期課程 ／ 博士後期課程	…… 13
--	-------

経済学研究科の教育目的は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、経済学と関連領域における高度な専門知識の修得と研究遂行能力を養成することで、現実の経済・社会が直面する様々な問題に対して積極的に関与できる人材を育成することにあります。また、実社会において活躍している社会人に対しては、経済学の高度な専門知識の修得を通して、より幅広く深い見識を有する人材を育成することにあります。これを実現するために、以下のような学生を求めます。

博士前期課程

1.経済学の知識を活用して、現実の経済・社会が直面する諸問題を具体的に解決したいという強い意欲を持つ人。主に「学内入学選考」と「一般入学選考」によるもので、経済学の基礎科目・専門科目と外国語の成績及び口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。
2.高度な専門能力の修得に意欲を持つ人。主に「学内推薦入学選考」によるもので、本学部の成績と推薦書及び口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。
3.社会人としての自らの経験を踏まえて、経済学を学びより幅広い見識を持ちたいという意欲を持つ人。主に「社会人入学選考」によるもので、社会人として実績のある受験生を対象にしています。志望する研究題目と研究計画書を出願時に提出し、これに関する論述試験と口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。「夜間主コース」も設けて、働きながら大学院を修了できるように配慮しています。

博士後期課程

1.経済学の各分野において、自立した研究者として独創的な研究を行う意欲を持つ人。
2.高度な専門知識を要求される職業人を目指す人。上記のポリシーを実現するために、専修科目と外国語の成績及び口頭試問の総合的な評価によって選抜を行います。

総合理工学研究科	理学専攻／物質系工学専攻／メカニクス系工学専攻／エレクトロニクス系工学専攻／環境系工学専攻／東大阪モノづくり専攻	>	博士前期課程 博士後期課程	建築デザイン専攻 > 修士課程	…… 15
-----------------	--	---	------------------	-----------------	-------

理学専攻

理学専攻は自然を解明することを目標とし、ディプロマポリシーとカリキュラムポリシーで示した教育方針に基づいて、数理解析、物理学、機能性分子化学、生物・環境化学の各分野に分かれて先進的な研究活動を行うとともに、各分野にまたがる複合的な研究もおこなわれています。これらの研究に携わる研究者による積極的かつ周到な教育・指導により、先進的な科学研究者、高等教育者、技術者を育成することを目指しています。このために、本専攻は以下のような学生を受け入れることを望みます。

博士前期課程

1.未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。
2.自然科学全般および専門領域における研究のための基礎学力を有する人。
3.新たに得た知見を広め、役立てる意欲を持ち、努力する人。

博士後期課程

1.自然科学における基礎的な概念・原理・法則を理解し、新たな発見に意欲を持つ人。
2.自然科学に関する研究の専門的課題を自主的に解決し、論文の形（修士論文相当）で表現する能力を修得している人。
3.博士後期課程で学んだ知識や経験をともに、将来的に教育・研究分野において社会の発展に貢献する意思を持つ人
さらに理学専攻に入学するまでに、各分野で行われている先進的な研究を学ぶために必要な語学力（日本語および英語による読解力、表現力、コミュニケーション能力）と数学・物理学・化学・生物学に対する基礎的理解力が修得できていることが望めます。上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績、学部成績、博士前期課程成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程志願者あるいは博士後期課程志願者における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者としての意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

物質系工学専攻

地球温暖化など、現代社会が抱える問題の解決は、明るい次世代社会を築くために必要不可欠です。本専攻では、これらの問題にかかわる化学現象の解明や新物質の創出に関する基礎研究、高等教育、産業応用を担う人材を育成することを目指しています。そのため、選考には、物理化学・無機化学・有機化学等、多分野の教員による口頭試問を取り入れています。本専攻が受け入れを望むのは、以下のような人です。なお、具体的な入学者選抜については総合理工学研究科の項目を参照してください。

博士前期課程

1.自然科学全般において学士としてふさわしい基礎学力を有し、その基礎学力をさらに培う意欲をもつ人。
2.修養した基礎学力をもとに各自の専門領域を深耕する意欲をもつ人。
3.積極性、主体性、倫理観に対する意識を高め、語学力やコミュニケーション能力を磨き、将来は国際的に活躍する技術者・研究者として人類社会の発展に貢献する意志をもつ人。

博士後期課程

1.自然科学全般においても修士としてふさわしい学識をもち、かつ各自の専門分野における課題を解決するための専門知識と実行力をもつ人。
2.各自の専門分野を深耕することに加え、専門以外の分野からも積極的に知見を取り入れることで自らの専門領域の新たな展開をはかり、ひいては新領域を切り拓く意欲をもつ人。
3.博士前期課程で培った積極性、主体性、倫理観、語学力、コミュニケーション能力にさらに磨きをかけ、将来は国際的な技術者・研究者の中にあってリーダーシップを発揮し、人類社会の発展のため貢献する意志をもつ人。

メカニクス系工学専攻

メカニクス系工学専攻は、近畿大学の建学の理念である「実学教育」に則り、機械工学の専門知識を実社会に応用し幅広く国際社会で活躍でき、さらに次世代社会の高度発展を支える機械工学に関する基盤技術を設計・開発できる研究者、高度専門技術者の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めます。

博士前期課程

1.機械工学の学士の専門知識を修得した人。
2.与えられた研究テーマに取り組む意欲があり、前期課程修了までの研究計画を立案し、これを文書および口頭で説明できる人。
3.学士の英語力をもち、産学官の中核的人物としてのグローバルな視点を持ちたい人。以上の人材を見出すために、機械工学関連の基礎ならびに専門知識に関する学力評価、TOEICやTOEFLなども含む英語の学力評価、さらに志望する専修科目に関する口頭試問などを総合的に評価して選抜します。

博士後期課程

1.機械工学の修士の専門知識と研究能力を修得した人。
2.自ら問題を発見・解決して発表する意欲があり、学会で口頭発表でき、後期課程修了までの研究計画を立案し、これを文書および口頭で説明できる人。3.英語論文を読解でき、産学官の中核的研究者としてのグローバルな視点を持ちたい人。以上の人材を見出すために、専門分野の学識と研究能力に関する口頭試問を含む口頭試問で総合的に評価して選抜します。

エレクトロニクス系工学専攻

エレクトロニクス系工学専攻は、近畿大学建学の精神に則り、エレクトロニクス系工学専攻の教育目的を実現するため、前期課程においては学士、後期課程においては修士のレベルに相当する理工系の素養と英語力を身につけており、豊かな創造力と論理的思考力を備え、高度な専門知識を学ぶ意欲と、研究開発に取り組むことへの強い興味と情熱をもち、計測・情報システム、材料・デバイス、情報処理、原子エネルギーの4分野において、専門技術者、研究者、教育者を目指す学生を求めています。

博士前期課程

1.当専攻の何れかの分野に強い関心があり、その専門知識を深く学ぶ意欲のある人。
2.前期課程では学士のレベルに理工系の基礎学力と英語力を身につけている人。英語力については入学試験にTOEICを導入することにより能力評価の客観性を保っています。
3.自らの問題を解決するための深い洞察力と論理的な思考力を獲得したい人。
4.学修を通して得られた知識、知見の高い倫理性をもって社会に還元しようとする人。

博士後期課程

1.博士前期課程（修士課程）修了レベルの基礎知識と英語力をもち、前期課程より継続して研究を進める好奇心と意欲を有する人。
2.研究課題を解決するための深い洞察力と論理的な思考力を獲得したい人。
3.専門領域において深い学識を得て、その知見を社会に知らしめる努力をする人。4.研究の社会的意義について正しい認識を持ち、研究者・技術者倫理を遵守できる人。

環境系工学専攻

環境系工学専攻では、各課程において以下のような学生を受け入れます。

博士前期課程

地球環境保全や社会基盤形成に関係する各分野の基礎知識と学問・研究に対する積極的な意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。
1.環境系工学に関する専門知識を有する人。
2.環境系工学に関する研究テーマに取り組む意欲があり、専門的課題に対して研究計画を立てられる人。
3.産学官における技術者・研究者として、活躍したい人。

博士後期課程

地球環境保全や社会基盤形成に関係する各分野の専門知識と先端研究に対する積極的な意欲と実行力に満ち、研究者倫理・技術者倫理を有する入学者を求めます。
1.環境系工学に関する専門知識と研究能力を有する人。
2.環境系工学に関する研究テーマに自ら取り組み、問題の発見・解決に意欲があり、研究計画を立てられる人。
3.グローバルな視点をもち、国内外で環境系工学に関する卓越した研究者を目指す人。

上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。

建築デザイン専攻

建築デザイン専攻では、歴史と伝統を踏まえ、デザインを通じて新たな環境構築を創造できる能力および21世紀となり世界を見据え国際社会において活躍できる能力を身に付けた高度な専門的職業人の養成を目指しています。地球環境保全や社会基盤形成に関する諸分野の専門知識をいかし、探求していくための充分な基礎学力を備えており、自ら課題を設定し、積極的に研究をおこなう意欲をもった人の入学を期待します。

修士課程

建築デザイン分野に関する高度な専門性を身に付け、その分野の職業人として力を発揮できる能力を有する入学者を求めます。
1.建築に関する基礎的な学力を有しており、計画的に研究を遂行できる人。
2.領域横断的な知性と教養を身に付け、総合的な思考力と判断力をもって国際社会また地域社会に貢献する意欲を持った人。
3.建築デザイン分野における能力を活かして、新たな都市、建築を構想する力を発揮できる人。

上記に挙げられた人物像を備えた人材を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留学生入学試験を実施します。各選抜では、外国語と専門科目の成績に加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合的に評価した入学者選抜を行います。

東大阪モノづくり専攻

最先端の理論と実務との架け橋の役割を果たそうとする意欲を持ち、理工系全般の素養を身につけ、創意工夫の精神をもち、モノづくり産業の発展に深い関心をもつ意思の高い人材の育成を目指しています。学別の理念に基づき、企業での研究開発と大学院での高度な教育を行うことにより、多様な価値観を身につけ、幅広い知識と総合力を備えた「新しい価値を創造できる研究者・技術者の養成」を目的としています。本専攻が受け入れを望むのは以下のような学生です。

博士前期課程

1.未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明する意欲を持つ人。
2.自然科学全般および専門領域における技術者としての基礎学力を有する人。
3.新たに得た知見を広め役立て、意欲をもち努力する人。

博士後期課程

1.未知のことに興味を持ち、筋道を立てて解明し、それを工学的応用に発展させる意欲を持つ人。
2.自然科学全般および専門領域における研究者としての応用学力を有する人。
3.新たに得た知見を広め役立て、グローバルに展開する意欲をもち努力する人。
本専攻の入学試験では博士前期課程および後期課程ともに、上記の人材を多面的な評価尺度で選抜するために、1.に対しては、一次試験として、定められたテーマに対する小論文を課す、2.に対しては、二次試験として、限られた道具と材料を用いて、テーマに沿ったモノを作製し、プレゼンテーションを課す、3.については、二次試験として、口頭試問を課す、という二段階選抜によって受け入れ、一次試験および二次試験の結果を統合した入学者選抜を実施します。

薬学研究科 薬科学専攻 > 博士前期課程 ／ 博士後期課程	薬学専攻 > 博士課程	…… 17
---	---------------------------	-------

薬科学専攻

博士前期課程

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、生命科学の進歩に貢献し、国際的に活躍できる人材の育成、および人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬科学専攻博士前期課程では、創薬科学および生命薬学分野において多岐に亘る専門的能力を有し、グローバルな視点と豊かな創造力だけでなく健全な倫理観を持って活躍できる人材を育成します。幅広い創薬関連分野で、医薬品の創製・開発や安全性の向上、あるいは薬学的観点から生命科学の進歩に貢献しうる人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1.薬学および生命薬学に関する確かな基礎学力を有し、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2.薬学および生命薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力を持っていること。
3.薬学および生命薬学に関する情報収集を行い、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4.将来、薬学・生命科学研究者として国際社会に貢献する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問などを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

博士後期課程

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、生命科学の進歩に貢献し、国際的に活躍できる人材の育成、および人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬科学専攻博士後期課程では、創薬科学および生命薬学分野において多岐に亘る高度な専門的能力を有し、グローバルな視点と豊かな創造力だけでなく高い倫理観を持って活躍できる人材を育成します。創薬科学および生命薬学分野の研究を通し、生命科学の進歩に貢献しうる人材を育成するために、次のような学生を求めています。

1.薬学および生命薬学に関する幅広い知識と技能を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2.薬学および生命薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を持っていること。
3.薬学および生命薬学に関する情報収集を行い、高い創造性を備え、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4.将来、薬学・生命科学研究を牽引し、国際社会に貢献する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問、プレゼンテーションなどを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

薬学専攻

博士課程

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、高度医療の実践と、科学の進歩に貢献できる人材を育成し、人類社会の福祉と持続的発展に貢献するために、薬学専攻では薬剤師として医療に従事するだけでなく、研究者の観点から医療における諸問題を解決し、より高度な医療の実現に貢献できる人材を育成します。また、薬剤師としての視点をもって、新しい医薬品の研究や臨床開発、行政等幅広い分野で活躍する人を輩出していくことも念頭に置いています。具体的には医療薬学に関連する研究を通し、研究者又は専門薬剤師の観点をもって臨床薬学の領域で活躍できる高度医療人および医療薬学における知識と経験を生命科学の進歩に応用できる人材の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めています。

1.医療薬学に関する幅広い知識と技能を有し、主体的に学ぶ態度を身につけ、自ら課題を発見し探求する意欲のある人。
2.医療薬学領域において、研究活動を遂行するためのコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力を持っていること。
3.医療薬学に関する情報収集を行い、論理的思考により問題解決することに意欲を持つ人。
4.将来、臨床薬学研究や生命薬学研究を通し、幅広い分野でリーダーとして国際的に活躍する意欲と倫理観を備えた人。

上記のポリシーを実現するため、入学選考においては、薬学研究科入学選考における評価基準をもとに、志願者の様々な能力や倫理観について、外国語（英語）能力に関する筆記試験、専門分野の学識に関する学力試験、小論文、口頭試問、プレゼンテーションなどを実施し、これらの結果を総合的に評価します。

総合文化研究科 **日本文学専攻**／**英語英米文学専攻**／**文化・社会学専攻**／**心理学専攻** > **修士課程**
…… 19

日本文学専攻

総合文化研究科日本文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、専門的な知識によって自ら新しい価値を生み出すことのできる柔軟な思考力と豊かな創造力を持った人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ人を入学者として受け入れます。
1.日本文学・日本語学・創作・批評などの学問分野の知識や技能の修得に加えて、それを活用して教育・文化に関わる仕事に携わりたいという意欲と能力を持つ人。
2.日本文学・日本語学の学問分野に興味を持ち、その研究を通して文学や言語について考察し、かつ研究者としての基礎を身につけたいという意欲と能力を持つ人。
3.創作・批評の分野に興味を持ち、それについて学ぶことを通じて、現代社会が直面する諸問題に対する問題意識を獲得したいという意欲と能力を持つ人。
以上のポリシーを実現するため、日本文学専攻では出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では、外国語の筆記試験、専門分野に関する筆記試験と口頭試問を行い（出願資格により異なる）、研究計画書の審査を加えて入学者選抜を行います。

英語英米文学専攻

総合文化研究科英語英米文学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、ジャンルを超えた広い視野をもって、英語という言語の性質を探索し、英語圏文学作品の研究を目指す人を国内外から広く受け入れ、専門性と関連領域の学識を高めています。このような方針に基づき、以下のような学生を求めます。1.言語としての英語や英語圏の文学作品に強い関心があり、高度な英語力を持つ人。
2.英語圏の文学作品について文学理論を援用して研究したい人。また、関連領域としての英語教育・応用言語学について学識を高めたい人。
3.研究者、教員、及び、高度な言語の知識や文学の理論を駆使した職業に就くことを目指す人。
以上のポリシーを実現するため、英語英米文学専攻では志願者による研究計画書の審査や語学・専門分野に関する試験などに加え、口頭試問を実施し、これらの結果を総合して合否判定を行います。

文化・社会学専攻

総合文化研究科文化・社会学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、複雑化する現代社会学を理論と実践からの確に理解し、あるいは歴史の解明を通じて、現代社会の課題に取り組む人材を育成するため、以下のような意欲と能力を持つ志願者を受け入れます。1.歴史、現代文化、社会、都市などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
2.専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力を身につける意志を強く持ち、そのために必要な基礎学力を有する人。
3.分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもって文化や知識の発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。
以上のポリシーを実現するため、志願者による研究計画書の審査や語学・専門分野に関する試験などに加え、口頭試問を実施し、これらの結果を統合して合否判定を行います。

心理学専攻

総合文化研究科心理学専攻は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、科学的な態度と確かな学識、論理的正当性に裏打ちされた、研究活動を行うだけでなく、人々のウェルビーイングおよび人間の生の基盤である社会の改善・発展にとって必要な解決すべき問題を拾い上げ、その解決に貢献できる人材の育成を目的としています。したがって、以下のような意欲と能力を持つ志願者を受け入れます。1.心理、臨床心理などの専門分野に興味を持ち、その研究を通して様々な人間の営みを根源的に考察し、多角的に理解しようとする人。
2.専門分野に関する知識や技能の修得に加えて、諸科学を横断する柔軟で幅広い教養と豊かな創造力をも身につける意志を強く持ち、そのために必要な基礎学力を有する人。
3.分化された職能にとどまらず、総合的な思考力、判断力をもって文化や知識の発信を行い、国際社会や地域社会で指導的役割を果たそうとする意欲を持つ人。
以上のポリシーを達成するために、出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では、外国語（英語）能力に関する筆記試験と、専門分野の基本的知識および論理性や分析力を評価する筆記試験、そして心理学的関心、科学的思考力、研究活動や臨床活動に対する意欲等を評価するために、志願者による研究計画書の審査や口頭試問を実施し、これらを総合的に評価し、入学者を選抜します。

農学研究科 **農業生産科学専攻**／**水産学専攻**／**応用生命化学専攻**／**環境管理学専攻**／**バイオサイエンス専攻** > **博士前期課程**／**博士後期課程**
…… 21

農業生産科学専攻

農業生産科学専攻では、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、農学に係る自然科学から社会科学までの幅広い知識と技術を修得し、身につけた高度な能力を実社会が抱える様々な問題の解決に実践、応用できる人材の育成を目指しています。また、農業生産の現場における諸課題を解決する能力を有し、環境と健康に配慮した作物の生産と流通に関連する各分野で活躍できる創造性豊かな人材の育成を目指しています。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施いたします。博士前期課程の選考・入学試験は、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）および口頭試問により行います。博士後期課程の選考・入学試験は、口頭試問により行います。口頭試問に関しては、以下に挙げる4つの項目をもつ人材をルーブリック（取り組み姿勢、目的・背景の理解、研究遂行力、卒業研究結果に対する解釈力・考察力、卒業研究および修士論文発表のプレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

博士前期課程

1.農業生産科学専攻博士前期課程の教育を理解し修得するのに必要な学力と学修・研究意欲を有する人。
2.農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3.本専攻分野の学問的發展と社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。4.本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力を高め、役立てる能力と意欲のある人。

博士後期課程

1.農業生産科学専攻の教育を理解し、技術者、研究者、指導者として自立するために必要な知識と技術を学修し研究する意欲を有する人。
2.農学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力に加えて、母国語のみならず英語でのコミュニケーション能力を学修する意欲のある人。
3.本専攻分野の学問的發展と国内外における社会的貢献を果たすため、幅広い専門知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4.本専攻分野の教育・研究成果を国際的に発信し、国内外で役立てる能力と意欲のある人。

水産学専攻

水産学専攻では、自然と調和した水産業の発展のため、水域の食料生産や環境保全などの幅広い分野で世界の水産業を牽引できる人材の育成を目指しています。具体的には、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施いたします。博士前期課程への各選考・入学試験では、英語と専門科目の学力試験および口頭試問を行い、各試験が個別に評価されます。また、博士後期課程への入学には口頭試問を行い、研究への取り組み姿勢、目的・背景の理解、遂行能力や修士論文の内容等について総合的に評価しています。

博士前期課程

1.水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に取り組む意志を有する人。
2.水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の読解力と理解力を有する人。
3.自然環境との共生を理解し、魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する広い知識、応用力、実践力の修得を目指す人。
4.グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、コミュニケーション能力と国際的発信力の強化に意欲を有する人。

博士後期課程

1.水産科学に関する基礎的知見を有し、現在の水産業が抱える問題点に対して技術者、研究者、指導者としての視点で解決方法を学修・研究する意志を有する人。
2.水産学研究を行う上で不可欠となる英語科学論文の高度な読解力と理解力とともに、情報を効果的に利用できる能力の修得を目指す人。
3.魚介類の生産から加工までの水産業全体を掌握する幅広い知識、自然環境との共生の理解、柔軟かつ独創的な応用力、実践力について各分野の専門家としての修得を目指す人。
4.グローバル化した産業と研究のニーズに対応するため、本専攻分野の教育・研究成果を国際的に英語で発信し、国内外で役立てるコミュニケーション能力の修得意欲を有する人。

応用生命化学専攻

応用生命化学専攻では、生命現象を化学的視点から理解することによって生命の特性を活用し、人類が直面する課題の解決に挑む人材の育成を目指して、以下の能力を有する入学者を国内外から広く受け入れます。入学選考では、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などを適宜実施し、総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下に挙げる3つの項目をもつ人材をルーブリック（専攻分野に関連した研究の理解（前・後期課程）、コミュニケーション能力（前・後期課程）、論理的思考力（後期課程）、研究意欲（前・後期課程））で総合的に評価します。

博士前期課程

1.本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な基礎学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2.主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3.教育・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信する意欲を有する人。

博士後期課程

1.本専攻の教育と研究理念を理解し、修得するのに必要な学力・語学力を有し、生命、資源、食料、環境に関する最先端の研究を生物と化学の融合領域で行い、応用に結びつける意欲を有する人。
2.論理的思考力および記述能力、口頭発表能力を有し、主体的に行動し、情報収集能力があり、問題解決に向けてチャレンジ精神のある人。
3.修学・研究成果を社会に役立てるため、国際的に発信し相互理解を深め、当該研究分野で世界をリードする意欲を有する人。

環境管理学専攻

環境管理学専攻では、本学の建学精神である実学教育と人格の陶冶をふまえ、持続可能な農林水産業の展開と生物多様性の保全に必要な知識と技術を修得し、育まれた高度な能力をもって、人類が直面する環境問題の解決に貢献できる人材を育成します。以下に挙げたような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れるため、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。各選考・入学試験では口頭試問を行い、ルーブリックにより評価されます。

博士前期課程

1.環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な基礎学力と研究意欲を有する人。
2.人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための問題解決能力の修得をめざす人。
3.研究成果を社会に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得する意欲を有する人。

博士後期課程

1.環境管理学専攻の教育・研究分野と理念・目標を理解し、環境管理学を修得するのに必要な学力と、地球規模の環境問題の解決をめざす高い研究意欲を有する人。
2.人類と自然の共生をめざし、開発と保護の調和をはかるための専門知識、研究能力、思考力、問題解決能力の修得をめざす人。
3.研究成果を世界に発信できる語学力やコミュニケーション能力を修得し、国際的に活躍する意欲を有する人。

バイオサイエンス専攻

バイオサイエンス専攻は、本学の建学精神である「実学教育」と「人格の陶冶」をふまえ、生物の多様な機能に着目した研究を通して、その原理を理解し、得られた成果を社会にフィードバックできる柔軟な思考力と創造力を持ち、人類が抱える食料・医療・創薬、エネルギーの諸問題を解決できる人材を育成します。これを実現するために、以下に挙げるような人物像を備えた入学者を国内外から広く受け入れることを目的とし、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施いたします。

博士前期課程の各選考・入学試験においては、志願者の基礎学力やコミュニケーション能力について、学力試験（英語と専門科目）、口頭試問などにより総合的に評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（大学院における学修に対する意欲、研究目的・背景の理解、卒業研究結果の理解、専門知識）で総合的に評価しています。

博士後期課程の各選考・入学試験においては、研究に関するプレゼンテーションと口頭試問などにより評価します。また、口頭試問に関しては、以下の項目についてルーブリック（研究の意義の理解、専門知識と課題設定能力、研究遂行能力、プレゼンテーション能力）で総合的に評価しています。

博士前期課程

1.本専攻博士前期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する知識と語学力を持ち、高い研究意欲を有する人。
2.独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。
3.幅広い視野を持ち、国際的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

博士後期課程

1.本専攻博士後期課程の教育・研究を理解、修得するのに必要な動物学、植物学、微生物学、化学に関する、より高度で専門的な知識と高い語学力を持ち、問題解決に必要な課題設定能力と高い意識をもって研究を遂行できる人。
2.研究の学術的・実用的意義を理解し、さらに独創的なフロンティア精神と探究心を兼ね備えた人。
3.幅広い視野を持ち、研究成果を国際的に発信するためのコミュニケーション能力、主体的に研究活動を行う意欲と能力を有する人。

医学研究科 **医学系専攻** > **博士課程**
…… 23

医学研究科は、近畿大学の建学の精神である実学教育と人格の陶冶に則り、確かな学識と倫理的正当性に裏付けされた研究活動を自立して行うだけでなく、自らの医療実践の中に課題を求め、その解決によって医療をさらに発展させる高度医療人の育成を目的としています。したがって、以下のような学生を求めます。
1.医学医療分野の基本的な学識を有する人。
2.新鮮で独創的な着想を持つ人。
3.自ら課題を設定し、積極的に研究に取り組む意欲のある人。
4.最先端の知識と技術を常に探究する人。
5.自らの医療実践の中に課題を求め、それを自ら解決したいと考える人。
6.研究によって、高度医療だけでなく、日常的な医療をも発展させたいと考える人。
7.国際的な視野に立つ卓越した研究者を目指す人。
以上のポリシーを実現するため、医学研究科では出願資格を明確に定め、年間2回の入学試験を実施します。入学試験では外国語（英語）能力に関する筆記試験と、専門分野の学識に関する口頭試問を実施し、これらの結果を総合した入学者選抜を行います。

生物理工学研究科 **生物工学専攻**／**生体システム工学専攻** > **博士前期課程**／**博士後期課程**
…… 25

生物工学専攻

近畿大学建学の精神である「実学教育」と「人格の陶冶」に即して、人類社会の福祉と持続的發展に貢献することのできる人材を育成するために、生物工学専攻は、生物学と工学の学際領域でのバイオテクノロジーを推進します。この理念のもと、動物物・微生物の分子生命工学、生殖再生や生体機能分子工学、生命環境及び食の機能・食の安全工学の分野の高度専門技術者・研究者を志する次のような人を求めます。なお、入学活動における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準をもとに行います。外国人留學生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。英語に堪能と判定できる者については、日本留学試験「日本語」を免除し、口頭試問も英語で受験できます。本専攻では、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。

博士前期課程

1.生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に意欲を持つ人。
2.グローバル社会に対応した英語力と学部で学んだ専門的知識・技術を併せ持つ人。
3.国際的な視野と倫理観を持ち、高度な専門力の修得により人類社会への貢献を目指す人。
このような人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績・学部成績）に加えて口頭試問を課すことにより、基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

博士後期課程

1.生命現象と科学技術への広い関心・理解を持ち、上記分野の課題解決に高い意欲を持つ人。
2.グローバル社会で活躍するための高度な英語力に加えて、広い視野と高度の専門的知識・技術を併せ持つ人。
3.国際的な視野と高い倫理観を持ち、自然と人間の営みについての複眼的な思考を課して人類社会への貢献を目指す人。
このような人物を受け入れるために、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語と口頭試問を課すことにより、博士前期課程において修得した語学力と専門的知識・技術、国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者・研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。

生体システム工学専攻

生体システム工学専攻では、機械、電気電子、情報通信を主柱とする工学分野と医療・福祉工学、健康科学、生活科学を主柱とするライフサイエンス分野を融合させた生体システム工学に関連する学際的教育研究を実現するカリキュラムポリシーを編成しており、これを通して本専攻のディプロマポリシーに示す資質・能力を習得した技術者、研究者の育成を目指します。

博士前期課程

高齢社会に対応したQOLの向上に貢献できる高度専門的職業人（技術者）の育成を目指しており、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。1.生体システム工学の研究を行うに足る学士課程における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。
2.生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。
3.高い倫理観を持つ工学技術者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。
4.国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。以上にあげるような人物を受け入れるために、学内推薦入学選考、学内入学選考、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績・学部成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、学士課程における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ高度専門技術者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留學生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。

博士後期課程

より高度な専門知識と豊かな学識に裏付けされた新奇の知見や技術の創出によって循環型知識基盤社会の発展に貢献できる研究者の育成を目指しており、以下にあげるような人物像を備えた人の入学を受け入れます。1.生体システム工学の研究を行うに足る博士前期課程における基礎学力及び知識を持った上で、学修・研究に対する意欲や語学を含めたコミュニケーション能力を有する人。
2.生体システム工学に関する幅広い知識と専門領域における探究心を有し、高度工学技術の修得及び研究を通して科学技術の発展に貢献したい人。
3.高い倫理観を持つ工学研究者の観点から生体システム工学分野における諸問題を解決し、同観点から持続可能社会の構築に貢献しようとする人。
4.国際的な視野を持ち、国際社会の一員として社会貢献を目指す人。以上にあげるような人物を受け入れるために、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。各選考・入学試験では、外国語・専門科目の成績（学力試験成績・学部成績の一部または複数の成績）に加えて口頭試問を課すことによって、博士前期課程における基礎学力、語学力及び国際的な視野と高い倫理観を持つ研究者として社会に貢献する意欲等を測り、総合的な評価によって選抜を行います。外国人留學生入学試験では、日本学生支援機構実施の「日本留学試験（日本語）の成績」の結果も加味します。なお、入学選考における評価は、別表に定めた生物理工学研究科入学選考における評価基準のもとに行います。

システム工学研究科 **システム工学専攻** > **博士前期課程**／**博士後期課程**
…… 27

システム工学研究科では、高度な専門知識とともに広い視野に立った工学の方法と、国際性や倫理観などを修めるための教育プログラムを提供し、ディプロマポリシーで掲げた研究者や高度専門職業人としての技術者の育成を目指しています。この育成を実現するため、次のような入学者を受け入れます。1.幅広い教養と実学としての工学分野の能力を発展・深化させたいと望む意欲のある人。
2.人間と自然が共存できる社会の構築に寄与することを熱望して、高度の技術者・研究者を目指す人。
3.複雑化する工学的課題に果敢にチャレンジし、探求能力を高めて、グローバルにしかもリーダーとして活躍したい人。（入学者選抜の基本方針）システム工学研究科では以上に示す方針に基づき、多様な入試制度を設けています。

博士前期課程

1.学内推薦入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の優れた水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と学部成績を総合的に評価して入学者選抜を実施します。
2.学内入学選考では、学士課程で専攻分野の基礎知識や技能を一定以上の水準で修得し、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果と学部成績を総合的に評価して入学者選抜を実施します。
3.一般入学選考では、学士課程における専門知識を十分身につけ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果を総合的に評価して入学者選抜を実施します。
4.社会人入学選考では、在職経験によって培った知識及び技術をさらに深化させ、高度な研究能力と社会の要請に対応できる総合的な応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と出願時の提出書類を総合的に評価して入学者選抜を実施します。
5.外国人留學生入試では、学士課程修了者と同等な専門知識を有し、当研究科に必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、高度な研究能力と社会の要請に対応できる応用力とを修得する意欲に溢れた人を選抜します。語学の学力評価に関する外部資格検定試験の活用と外国語、専門科目の記述試験、口頭試問及び書類審査を行い、これらの結果を総合的に評価して入学者選抜を実施します。

博士後期課程

1.一般入学選考では、博士前期課程における専門知識と研究能力を十分身につけ、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の学力試験及び口頭試問を行い、これらの結果を総合的に評価して入学者選抜を実施します。
2.社会人入学選考では、在職経験を有する者で、博士前期課程における最低限の専門知識と研究能力を十分身につけており、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。本学独自の口頭試問を行い、この結果と出願時の提出書類を総合的に評価して入学者選抜を実施します。
3.外国人留學生入試では、博士前期課程修了者と同等な専門知識と研究能力を有し、当研究科に必要な最低限のコミュニケーション能力をもち、先端科学技術を主体的に修得する意欲と、新しい研究分野を開拓する意欲、高度な専門的業務に必要な学修に取り組む意欲に溢れた人を選抜します。語学の学力評価に関する外部資格検定試験の活用と外国語の記述試験、口頭試問及び書類審査を行い、これらの結果を総合的に評価して入学者選抜を実施します。

産業理工学研究科 **産業理工学専攻** > **博士前期課程**／**博士後期課程**
…… 29

産業理工学研究科は、近畿大学の建学の精神と教育の目的に即して、ハードサイエンスとソフトサイエンスの融合のもと、社会に信頼され地球環境に調和する産業科学技術の展開を図り、持続可能な循環型知識基盤社会の発展に貢献できる人材の育成を目指しています。本研究科では、この教育理念に共感し、ディプロマポリシーに示した人材になることを希望する次のような入学者を受け入れます。

博士前期課程

1.専門分野の知識と技術を修得するための基礎的な学力とコミュニケーション能力を有する人。
2.専門及び関連分野の知識や技術を修得し、専門家として自立する意欲のある人。
3.自ら学ぶ意欲をもち、多角的な視点から新たな知見や技術を創出する情熱のある人。

博士後期課程

1.専門分野の高度な知識と技術を修得するための専門性と研究能力を有する人。2.専門及び関連分野の知識や技術を幅広く深化して、専門領域を極める意欲のある人。
3.自ら行動し、失敗を恐れずチャレンジし、既成概念にとらわれることなく多角的な視点から新しい価値を創り出す意欲のある人。本研究科では、このような人を受け入れるために、学内推薦入学選考・学内入学選考（博士前期課程のみ）、一般入学選考、社会人入学選考、外国人留學生入学試験を実施します。学内推薦入学・社会人入学選考では専修科目に関する口頭試問試験により合否判定を、その他の選考・入学試験では、筆記試験と専修科目に関する口頭試問試験を行い両方の結果を統合して合否判定を行います。口頭試問においては、アドミッションポリシーの各項目に記載された能力、意欲、情熱を評価するための基準をルーブリック評価に定め、これに沿って公平で客観的な評価を行います。

大学院研究科のアドミッションポリシー（入学者受け入れの方針）は変更される場合があります。最新はホームページ（https://www.kindai.ac.jp/graduate/department/）をご確認ください。